

会 議 録

1 会議名

令和5年度第2回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

（1）中山間地域農業「将来ビジョン」の完成と実践に向けた取組方針について

○自主的審議事項（公開）

（1）住みやすい安塚の在り方について

○その他（公開）

3 開催日時

令和5年5月30日（火）午後6時30分から午後7時23分まで

4 開催場所

安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：池田裕夫、池田康雄、石田ひとみ、小松光代、新保良一、中村真二、
秦克博、松苗正二、松野修、山岸重正、吉野誠一
- ・事務局：安塚区総合事務所 小林所長、山崎次長、小林市民生活・福祉グループ長（併
教育・文化グループ長）、村松班長、萬羽主任
- ・浦川原区総合事務所：宮川産業グループ長、長井主任

8 発言の内容（要旨）

【松苗正二会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・外立委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

本日の会議録の確認は、内規により私の方で対応する。

それでは、次第2報告事項(1)中山間地域農業「将来ビジョン」の完成と実践に向けた取組方針について、から議事を進めていく。

本日は、浦川原区総合事務所の職員が出席されている。

報告内容について、説明を求める。

【浦川原区総合事務所 宮川産業グループ長】

資料No. 1から資料No. 4に基づき、中山間地域農業の維持・振興に向けた安塚区の将来ビジョンの内容等を説明。

【松苗正二会長】

浦川原区総合事務所から説明があったが、質問のある方はいるか。

【吉野誠一委員】

安塚区の農業を考えたときに私が問題だと感じるのは、米の卸価格があまりにも安く、ほとんど赤字経営のような状況になっているということである。その一方で、インターネット等を通じて直接売っている方の中には、35,000円という価格のケースも見られる。そこを解決しない限り、将来的には皆農業をやめていく傾向になってしまう。

米の生産量は、安塚区全体で2万俵くらいになるのではないかと想像しているが、30,000円、35,000円というような価格で売るための方策を考えなければ、先行きは暗いと思う。その点に関してどのような考えを持っているか。

【浦川原区総合事務所 宮川産業グループ長】

確かに米価はなかなか上がっていないというのが現状である。農協の仮渡金もコシヒカリ一等米で15,000円くらいという状況である。個人的に売買されている方やふるさと納税を活用している方の中には、吉野委員が言われるとおり30,000円、35,000円という価格で取引している方がいることも事実であると思う。

一般に流通する米の価格が上がらないという現実もあり、農業者の中には先が見えないから農業を辞めてしまうという方もいらっしゃると思っている。

今回作成した将来ビジョンにおいては、米だけでは農業の経営が成り立たない現状の中、農業生産維持に向けた作物選定・所得確保という部分で、例えばブランド米の構築や自然薯のオーナー制度、イチジク・クルミシロップの生産によって農業所得の向上を図るというような取組も挙げられている。これらはあくまでも一例であり、(仮称)安塚区みらい農業づくり推進協議会を立ち上げた際には、より広く皆様からのご意見をお聞きし、持続可能な農業をどのように実現していったらよいかという部分も議論しながら、できる部分から着実に進めていかなければいけないと考えている。ご質問に対する回答

になったか分からないが、考え方としては今ほど申し上げたような内容である。

【吉野誠一委員】

ちょうど1週間くらい前のことであるが、私はもうすぐ定年を迎える50代の方など11名くらいの方と話し合いをした。参加者のうち、半分以上の方は農業から手を引いており、給料をつぎ込んでまで続けられないと言われていた。また、このまま続けたところで何の見通しも立たないからやらないとも言われていた。どうしたら続けていけるのか聞いたところ、安塚区の米をまとめて買ってくれるような販路を確保し、少なくとも30,000円以上で売ることが必要とのことであった。

現状、安塚区において、他の品目が家計を支えるような状況になっていない。米が唯一の収入源であるとすれば、米価についてもっと真剣に考えていかなければならないというふうを感じる機会になった。

【松苗正二会長】

ほかに質問等あるか。

(質問なし)

ほかに質問等なければ、以上で中山間地域農業「将来ビジョン」の完成と実践に向けた取組方針についての報告を終了する。ここで浦川原区総合事務所の職員は退席となる。

(浦川原区総合事務所職員退席)

次に次第3自主的審議事項(1)住みやすい安塚の在り方についての協議に移る。

今回の地域協議会に向けて、5月11日(木)に小委員会を開催し、検討を行った。まず、小委員会で検討した内容を私の方から報告し、その後皆さんの意見を伺いたいと思う。

小委員会でまとめた今後の検討の方向性に関する案の内容等を説明。

小委員会では、今後の検討の方向性を2案にまとめた。

1案目は、リバーサイドロードの整備についてである。今後も現行の街路樹等管理業務委託による整備を継続するとともに、インターロッキングや花壇の修繕等を含めた整備内容の拡充を求める旨の意見書を作成する方向で検討を進めていきたいと考えている。

2案目は、リバーサイドロードの活用についてである。活用に関するアイデアをまとめ、NPO雪のふるさと安塚へ提案する形で検討を進めていきたいと考えている。

意見のある方はいるか。

【山岸重正委員】

花壇の植栽について、現在植えられているサルスベリをより手入れのしやすい柳葉ひ

まわり等に植え替えてはどうかという話があったが、サルスベリもきちんと管理されていればきれいに咲いているはずである。また、元々景観条例等に沿って低木樹を植えるという計画でサルスベリを選定したというふうに記憶している。植え替えるというような方向性を安易に決めない方がよいと思う。

【松苗正二会長】

過去の経緯も色々あると思うが、現状サルスベリはほとんど管理されていない。小委員会の中では、サルスベリを継続的に管理するのはなかなか難しいため、より管理しやすいものに植え替えていってどうかという意見が挙げられていたことから、共有させてもらった。山岸委員の意見も踏まえながら、改めて検討していきたいと考えている。

中村委員はいかがか。

【中村真二委員】

小委員会で良い感じにまとめていただいた。先ほど松苗会長が説明されたような形で進めていけばよいと思う。

【松苗正二会長】

池田康雄委員はいかがか。

【池田康雄委員】

街路樹等管理業務委託に係る桜の枝折れ回収は、高所作業車を使用した作業も含まれているか。

【松苗正二会長】

桜の枝折れ回収については、昨年度まで町内会等への委託となっていたことから、高い部分の回収が難しかったという事情があったものと推測している。今年度は業者委託となっていることから、高所作業車を使用するケースもあるのではないか。

【萬羽主任】

高所作業車の使用が想定されているか否かについては、確認したうえで後日回答とさせていただきます。

【池田康雄委員】

承知した。

また、花壇の植栽については、植え替えにあたって重機の使用や土の補充が必要になるケースも想定されると思う。

【松苗正二会長】

ほかに意見等あるか。

(意見なし)

今後の検討の方向性については、小委員会でまとめた2案を基に検討を進めていくこととしてよろしいか。

(「はい」の声多数)

次回の地域協議会で検討を進めることになるが、事前に小委員会を開催し、たたき台を作成することとしたい。

次回の小委員会の開催日はいつがよろしいか。

(意見なし)

6月12日(月)開催でよろしいか。

(「はい」の声多数)

次回の小委員会は、6月12日(月)午後6時30分から開催する。

以上で本日の自主的審議事項についての協議を終了する。

次に次回の地域協議会の開催日を確認する。通常であれば、次回は6月27日(火)の開催となるが、皆さんのご都合はいかがか。

【小松光代委員】

NPO雪のふるさと安塚では、6月27日(火)午後7時からふれあいコンサートを開催することになっているため、別の日でお願いしたい。

【松苗正二会長】

それでは、6月28日(水)開催でよろしいか。

(「はい」の声多数)

次回の地域協議会は、6月28日(水)午後6時30分から開催する。

ほかに連絡事項等あるか。

【萬羽主任】

地域自治の推進に向けたヒアリング調査等について説明。

【松苗正二会長】

今ほどの説明について、何か質問等あるか。

(質問なし)

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL: 025-592-2003 (内線 23)

E-mail: yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。